



澤畑義照議員

問

1. 本町における今後の学校編成について
2. ・青部駅トイレの設置について
・青部沢間間の道路拡幅について
3. 本町の小中学生の学力の実態について

質問 本町においては年々児童生徒数が減少している中、学校編成をどのように考え、今後の対応について伺う。

町長 本町における今後の学校編成ですが、現在我が国においても教育再生への取り組みが論議されている状況の中で川根本町においても、これからの教育がどうあるべきか、本質的な問題から議論するとともに、町内の出生数を見ますと近年では30人前後で推移しており平成25年以降においては複数の学校で複式学級が生じると予測されます。この様に少子化が進展する中でありますので町の教育に関する全体的な検討も含めて対応していくことが必要かと思っております。基本的には財政的な面、少子化の面、行政というよりも地域として学校教育をどう考えていくのか、そういう議論の上で方向づけができるのではないかと、このように考えております。

質問 青部駅トイレ設置の具体的な推進計画と青部沢間間の道路拡幅工事の見通しについて伺う。

町長 青部駅トイレは、バypassルートに接しており、今後どのような形で周辺が再編整備されるか、若干ルートの変更等があり未整備な部分がありますので、その条件が整った段階で早急に全体構想の中に青部駅トイレを位置づけて、トイレの建設を進めていきたいと思っております。

沢間から青部間の道路拡幅工事については平成18年度定例会の折、質問があり、その後町として県並びに土木事務所に要望をしてくいているところであり、本年度は道路改良工事に伴う測量設計事務委託を実施しております。来年度から工事が始まりますが完成まで2年、3年かかると聞いております。早期に部分改良、あるいは通行がより楽になるように県に要望してまいりたいと思っ



ております。

質問 全国学力、学習状況調査を実施したが本町の総合的な分析結果と課題を学習指導等について伺う。

教育長 小学校の場合、学力調査国語においては活用する力を問うもの、文章を要約するなど課題があり、算数においては答えの理由を文章で書く等の課題に課題があつた。中学校においても小学校と同じように活用を問う問題に課題が見られた。これらの結果と課題

を踏まえ、各学校には結果を分析し、学級担任、教科担任だけの問題とせず全校体制で取り組むよう指導してきたところです。学力調査に関しては、基本的なことは身につけているので、活用能力を高めることが課題であります。活用を図るには、基本的な事項のさらなる定着を図ることが肝要であるとともに、みずから考え、みずから解決しようとする意欲を涵養すること、解決方法を学ぶこと、さらに、体験活動から学ぶことが大切であると考えております。それらを意図的に学習活動に取り入れていくことが大切であると思っております。すでに各学校で、この視点を大切にして取り組んでおりますが一層推進するよう指導を強化してまいりたいと思っております。

答

1. 財政、少子化、地域の学校教育の視点を踏えて方向づけを図る。
2. ・トイレについては周辺の整備状況を考慮して設置の方向を推進する。
・道路拡幅については、2・3年かかると聞いております。
3. 知識を活用する力を今後身につける教育を強化する。